

教科研修（高校 理科）

～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～

【講座のねらい】

観察、実験を伴う実習による実体験や実社会での問題発見・解決につながる教科等横断的な学びを意識した講座・演習等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方や評価について理解を深め、実践的指導力の向上を図る。

【対象】 高等学校等の理科担当教諭（初任から5年以内）

【定員】 24名

【研修日程・内容】



①6.5h×1日、6h×1日

9/4～9/5

集合型研修

「観察、実験等を行う実習」

- 「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験
- 実社会での問題発見・解決

9月～1月

職場実践

- 研修の成果を基に自校で行う授業実践

②2.75h

1/26

遠隔型研修

「実践交流」

- 実践成果発表及び交流

講師 ①②北海道立教育研究所職員

①酪農学園大学教授 金本 吉泰 氏

元理科教育センター職員。
理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究。

※①の集合型研修は酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。